

## 2001年3月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

北半球500hPa高度では、北極海からベーリング海、太平洋東部、カナダ北部からグリーンランド、地中海から中央アジアにかけては正偏差に覆われた。一方、大西洋からロシア西部、日本付近、アラスカ、北アメリカ東部では負偏差となった。偏西風は日本付近ではほぼ平年並の位置にあったが、中心付近は平年よりも強かった。中央アジア付近と太平洋東部ではジェットの流れが見られた。

対流活動はインドシナ半島、フィリピン、インドネシア、オーストラリアで平年より活発で、引き続きラニーニャ傾向であった。

200hPa速度ポテンシャルの分布図を見ると、大規模発散域の中心は、平年より20度程西に偏り、アラフラ海に位置していた。

SOI(南方振動指数)は+0.8(暫定値)と大きな正の値が秋以降続いている。

### 世界の天候

#### ① 西日本から華中の少雨

韓国のプサンで6mm(7%)。

#### ② 華中・華南の高温

中国の西安(西安)で12.1°C(+3.9°C)。

#### ③ 東南アジアの多雨

タイのチュムボンで570mm(817%)。インドネシア、フィリピン、マレーシアでは大雨による洪水や土砂崩れなどの被害が報じられた。

#### ④ 中国北西部からアフリカ北西部の高温

#### ⑤ ヨーロッパ北部の低温

ノルウェーのボーデで-3.3°C(-3.2°C)。

#### ⑥ ヨーロッパ中部の多雨

ハンガリー、ルーマニア、ウクライナでは、上旬に大雨と融雪による洪水が発生し、約1万6千人が避難したと報じられた。下旬にはフランスやポルトガルでも洪水の被害が伝えられた。

#### ⑦ トルコの少雨

#### ⑧ 米国東部からメキシコの多雨

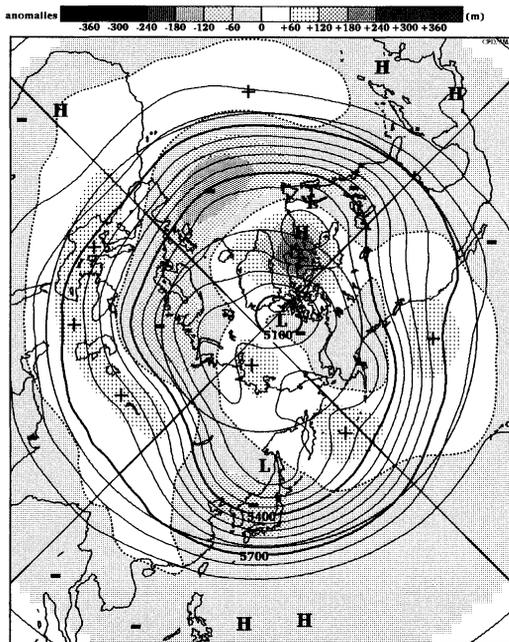
米国のマイアミで137mm(241%)。米国ミシシッピ州などで中旬に大雨や強風の被害が伝えられた。

#### ⑨ 米国中西部・南部の低温

米国のオースティンで11.6°C(-4.7°C)。

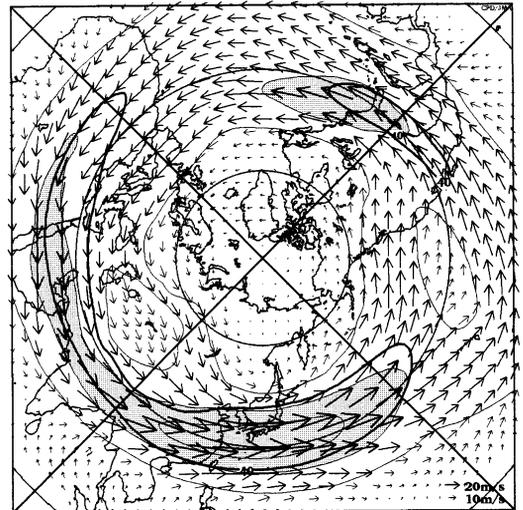
#### ⑩ 米国北部の少雨

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 西潟政直)



2001年3月の北半球月平均500hPa高度および平年偏差

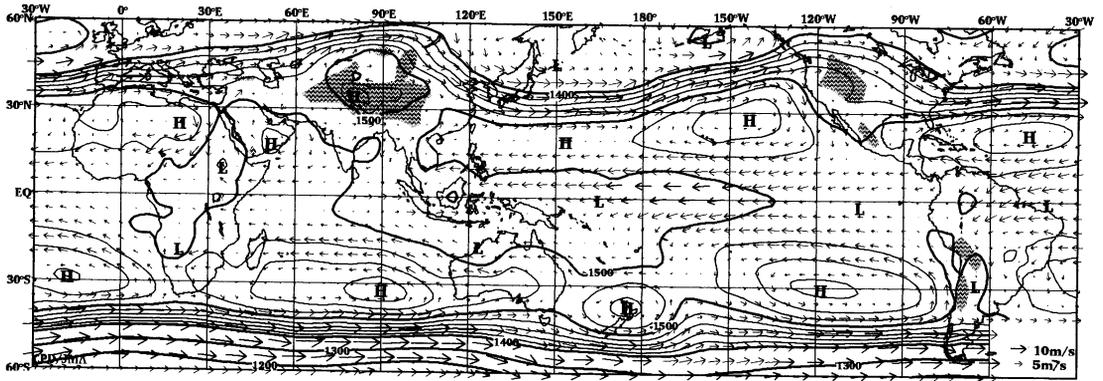
等値線間隔は60m, 偏差パターン間隔は60m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



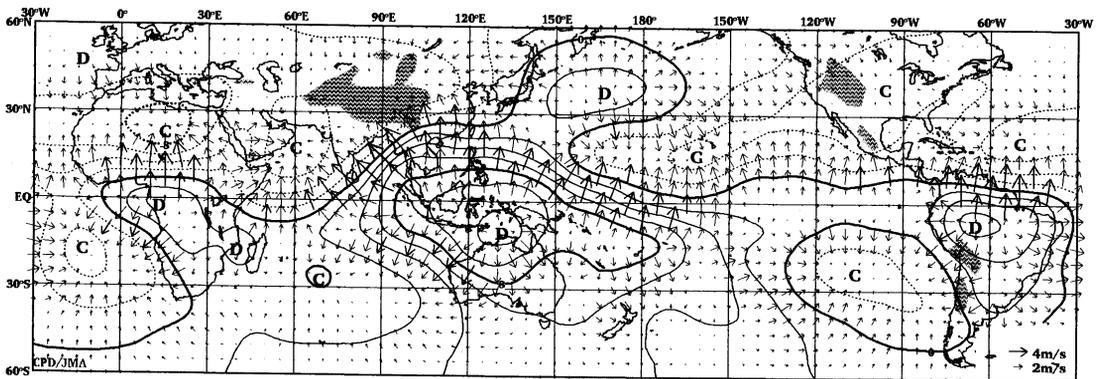
2001年3月の北半球月平均200hPa風速および風ベクトル

等値線間隔は20m/s, 陰影部は40m/s以上, 太実線で囲まれた領域は平年の40m/s以上の領域を示す, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

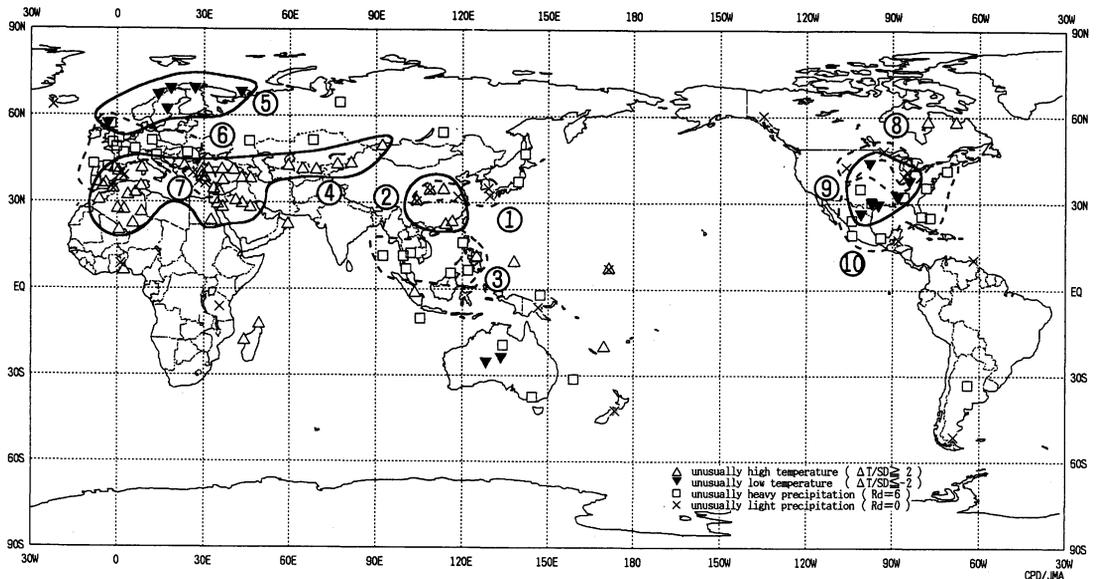
上の図中で1996年4月から2001年3月までの図説が誤っていました, 詳しくは368ページ「訂正」をご参照下さい, 長期間にわたる誤りをお詫びいたします



2001年3月の月平均850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2001年3月の月平均200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2001年3月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.